

闘虎

No. 67 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
令和4年 夏季号



石井亜海が優勝！そして世界へ！

明治杯全日本選抜レスリング選手権大会

6月16～19日、駒沢公園体育館において「明治杯全日本選抜レスリング選手権大会」が行われた。前年の天皇杯の雪辱に燃える石井亜海（OSA-安部学院一育英大）は、初戦、世界銀の選手との乱戦を制すと、決勝とプレーオフでは、冷静な試合運びで勝利。世界選手権（9/10～18・セルビア）の出場権を得た。男子では、阿部光（明和C-館林高-中央大3年）が決勝に進む大躍進を見せた。

【男子フリースタイル】◇92kg級 ②阿部光（中央大）

【女子】◇55kg級 ②清岡もえ（育英大） ◇57kg級 ①櫻井つぐみ（育英大）
◇59kg級 ①元木咲良（育英大） ◇68kg級 ①石井亜海（育英大） ◇72kg級 ③藤倉優花（育英大）

また、U20世界選手権（8/15～19・ブルガリア）では、清岡もえ、元木咲良、石井亜海の育英大3選手が優勝を果たし、国別対抗の日本V10に貢献した。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 金子博 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第67回

前橋西高校



2年が多い若いチーム！
新たな歴史を築きたい！

3年 主将 大谷 丈

私たち前橋西高校レスリング部は、総勢8名で、顧問である増谷先生のご指導のもと、日々高い意識を持って練習に取り組んでいます。普段の練習では増谷先生から様々な技術を学び、先生自らスパarringの相手をしてきています。厳しくも熱心に私たちを鍛え強くしてくれる増谷先生、時には試合の技術だけでなく、試合で勝ちきるための練習の取り組み方やルールの指導、効率的なウエイトトレーニングの方法をご指導いただいております。休日には他校との合同練習にも連れて行ってくれます。卒業した先輩方が練習に参加してくれることもあり、その際には豊富な経験をもとにしたアドバイスをもらい、さらに競技力の向上につながっております。このような練習の成果もあって、全員が高校からレスリングを始めたにも関わらず、全国大会や関東大会での入賞を果たしました。2年生が多く若いチームではありますが、先生や先輩方、保護者の方々の支えもあり着実に実力を伸ばしています。少数精鋭の仲間たちと共に、これからも前橋西高校レスリング部の伝統を引き継ぎ、新たな歴史を築いていきたいと思っています。

SCHEDULE

■国民体育大会
10月2日（日）～5日（水）
足利市民体育館

■館林市民秋季大会
10月9日（日）
館林市城沼総合体育館

■全日本女子オープン
レスリング選手権大会
10月15日（土）～16日（日）
焼津市総合体育館

■県民総体・高校新人戦
・群馬県小学生総体
11月6日（日）
館林市城沼総合体育館

■全国中学選抜
レスリング選手権大会
11月26日（土）～27日（日）
駒沢屋内球技場



坂本 和哉さん（邑楽町・34歳）

レスラーファクトリー
「思い出の一葉」

□この写真は平成21年3月、私が中央大学3年の春の焼津合宿での一枚です。前列一番左が私です。私は中3のとき、友人に「高校でレスリングをやる！」と宣言して卒業し、館高レスリング部に入りました。学業にも力を入れている学校であるうえに、練習の厳しさは想像以上で、疲れ果て、家には寝に帰るだけの日々でした。試合は勝てず、一度だけやめようと思いましたが、針谷豊先生の「努力は裏切らない」という言葉を信じ、3年でインターハイに個人、団体で出場した時は、この言葉が身に染みしました。大学でもレスリングを続け、都内の会社で就職しましたが、「自分を育ててくれたレスリングに恩返しをしなくていいのだろうか？」と思い、地元に戻り、邑楽ジュニアで指導させていただいております。子どもたちには、レスリングの素晴らしさを伝えていきたいと思っています。

HERO'S IN GUNMA



加藤 敦史 選手 (国士舘大学)

東日本新人戦は、大学へ入学して生活環境や練習環境が変わって、最初の大会だったので、気合を入れて練習をしてきたし、優勝することができ、今までの大会では、2位とか3位が多かったので、優勝はとても気分が良いものだと思います。これからの目標は、インカレや全日本選手権など、大きな大会で優勝することです。

武道館で行われた国体予選では、加藤の高校・大学の先輩である寺田有輝(群馬県警)と対戦。寺田が一日の長を示した。また、新人戦で対戦した「館林ジュニア対決」加藤と日比野戦も再現された。

【新人戦フリースタイル】
級 ①加藤敦史(国士舘大) ◇ 57 kg 級
級 ②五味虹登(育英大) ◇ 61 kg 級
級 ③本名帝心(育英大) ◇ 70 kg 級
級 ③中里優斗(中央大) ◇ 97 kg 級
級 【新人戦グレコローマン】
級 ②増田壮兼(育英大) ◇ 55 kg 級
級 ③日比野晴斗(神奈川大) ◇ 60 kg 級
kg 級 ①五味虹登(育英大) ◇ 63 kg 級
kg 級 ②三谷剛大(育英大) ◇ 72 kg 級

6月4〜5日、アダストリアみとアリーナにおいて「第68回関東高校レスリング大会」が行われた。館林高は、優勝者こそ出なかったものの、3選手が決勝進出。館高の学校対抗戦第4位に貢献した。また、石井公健が奮闘。銀メダルを獲得した。

【フリースタイル】◇ 55 kg 級 ②山口想成(館林) ◇ 71 kg 級 ②上村朋也(館林) ◇ 125 kg 級 ②大谷丈(前西)
【グレコローマン】◇ 60 kg 級 ②山田康介(館林) ◇ 92 kg 級 ②石井公健(富実) ③早川海己(市太田)

村田悠芽夏が第3位！
県内唯一の銅メダル！
全国中学生選手権

6月11〜12日、アダストリアみとアリーナにおいて「第47回中学生レスリング選手権大会」が行われた。3年ぶりの開催となった全中で、県内選手はメダルを狙ったが、男子では松井礼士(OSA)らベスト8が最高で、もう一つ勝ち切れず。女子の村田悠芽夏の第3位が唯一のメダルとなった。

【女子】◇ 62 kg 級 ③村田悠芽夏(邑楽jr)

加藤敦史が激戦制す！
県勢メダルラッシュ！
東日本学生選手権

6月29〜7月1日、駒沢公園体育館において「東日本レスリング選



新人戦で戦った加藤(右)vs日比野が再戦！

石井公健グレコ準V！
館高が対抗戦第4位！
関東高校レスリング大会

【選手権グレコローマン】◇ 55 kg 級 ②馬渡迅(東洋大) ◇ 60 kg 級 ②庄司秀(育英大) ◇ 72 kg 級 ③喜多康介(育英大) ◇ 77 kg 級 ③宮田大地(育英大)

【選手権フリースタイル】◇ 70 kg 級 ③谷津龍斗(明大)

【選手権グレコローマン】◇ 55 kg 級 ②馬渡迅(東洋大) ◇ 60 kg 級 ②庄司秀(育英大) ◇ 72 kg 級 ③喜多康介(育英大) ◇ 77 kg 級 ③宮田大地(育英大)

英大) ◇ 68 kg 級 ③小林久美(福岡大) ◇ 72 kg 級 ①塩沢和(育英大) ③小林奏音(専修大)

山田康介意地見せた！
国体に期待繋げる銅！
全国高校グレコ選手権

8月18〜19日、金岡公園体育館において「第37回全国高校グレコローマン選手権大会」が行われた。群馬選手は次々と敗れる中、山田康介(館林jr―館高3年)が一人気を吐き、第3位入賞を果たした。

◇ 60 kg 級 ③山田康介(館林)

手権大会」が行われた。群馬期待の俊英・加藤敦史(館林jr―館高―国士舘大1年)が、大激戦区・57 kg 級を制した。7月16〜17日、市太田高

アジアで咲いた藤倉優花！U20優勝！

U20アジア選手権

7月7〜8日、バーレーン・マナマにおいて「U20アジアレスリング選手権大会」が行われた。全日本選抜で第3位となった藤倉優花(邑楽jr―安部学院―育英大1年)が、日本代表として72 kg 級に出場した。藤倉は、5者リーグ戦の中、韓国、ウズベキスタン、カザフスタンの選手に圧勝し、インドの選手とは3―3の同点ながら辛勝、日本選手が勝ちづらい重量級で、堂々の優勝を果たした。日本レスリング協会HPでは、成田空港での藤倉の勝利者インタビュー



決勝で勝ちアジアの女王に君臨した瞬間の藤倉優花

荻谷萌々香全少優勝！ 上州躍進5人メダル！ 全国少年少女大会

ユーがアップされた。また、68 kg 級に出場した小林久美(千代田jr―西邑楽―福岡大1年)は、第5位となった。

7月29〜31日、代々木第一体育館において「第39回全国少年少女レスリング選手権大会」が行われた。この日のために、県内各クラブは、他県の強豪クラブを招いて強化練習を慣行。その成果が現れ、上州トレジャ―は8選手出場中、5選手が入賞するという戦果を上げた。この全少優勝を目標に、県内の合同練習にすべて参加した荻谷萌々香(OSA)は、念願の優勝を果たした。

【6年】◇ 55 kg 級 ③谷津悠仁(上州)

【5年】◇ 26 kg 級 ③一圓政宗(上州) ◇ 42 kg 級 ③構琉之介(OSA) ◇ 46 kg 級 ③柴木丈(上州) 【女子5年】◇ 44 kg 級 ①荻谷萌々香(OSA) ②石井愛加里(上州) ◇ 48 kg 級 ②関田穂花(上州) ◇ 36 kg 級 ③笛木紬衣(伊勢崎)

玉岡颯斗は初冠逃す！ 育英大入賞ラッシュ！ 全日本学生選手権



目標だった全少金メダルを手にする荻谷萌々香

8月15〜18日、駒沢公園体育館において「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。大学初タイトルを狙った玉岡颯斗(OSA―館高―早大3年)は、優勝を逃した。

【グレコローマン】◇ 55 kg 級 ②増田壮兼(育英大) ◇ 67 kg 級 ③太田楓輝(育英大) ◇ 77 kg 級 ③原田真吾(育英大) ◇ 82 kg 級 ②玉岡颯斗(早稲田大) ◇ 87 kg 級 ③阿部光(中央大) 【女子】◇ 50 kg 級 ③櫻井はなの(育英大) ◇ 53 kg 級 ①下野佑実(育英大) ◇ 65 kg 級 ②平井かえで(育英大)

始めは柔道から入ったのですが、子どもの人数が少なく、練習相手があまりいなかったため、柔道に近いレスリングをやろうと思い、邑楽ジュニアに入りました。レスリングをやって、すぐに思ったのは「楽しい！」ということでしたが、スパarring、特に合同練習のときは、お互い真剣になるので、とても苦しい練習だと感じましたが、強くなるためには必要な練習だと思いました。これからの目標は、全国優勝することです。ライバルは、チームリバーサルの選手です。憧れの選手は、総合格闘家の萩原京平です。将来の夢は、総合格闘家になることです。



邑楽ジュニアレスリングクラブ 萩本 湊愛さん(中1)

レスクイーン

なでしこGUNMAの